

# 事業実施にあたっての市の考え方

仕様書の補足資料として、事業実施にあたっての市の考え方を以下のとおりお知らせします。提案の参考にしてください。

## ●事業実施のポイント

1 特にインテリア製品について、ターゲット層を明確にした商品開発やPRについて提案がなされているか

2 大川市の認知度を更に広げ、寄附者の裾野を広げるための特色あるPR戦略が提案されているか

3 家具だけではない市の魅力発信のため、食（共通返礼品を含む、加工品の商品開発等）に関する提案がなされているか

4 ふるさと納税の市場全体の傾向や、市への寄附の現況（※）を分析した上での提案となっているか

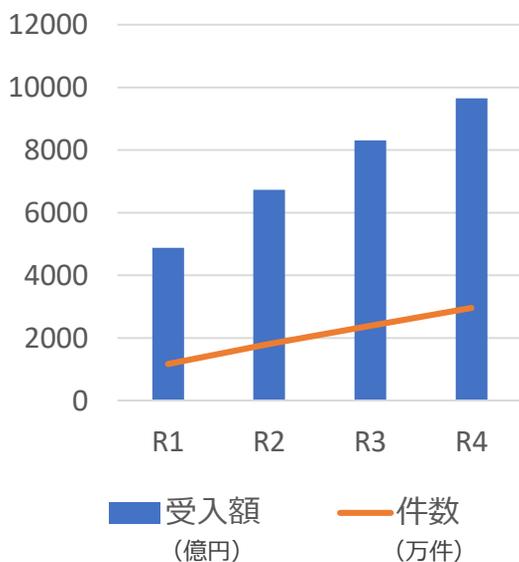
※現況については、別添資料を参照

## ●事業における市の姿勢（目標など）

- ・前年度の寄附実績から155%増を継続し、将来的には64.8億円の寄附を目指す（R5実績17.4億円 → R6目標27.0億円 → R7目標41.8億円 → R8目標64.8億円）
- ・経費についても見直しを行い、寄附が最大の効果を発揮できるよう取り組む

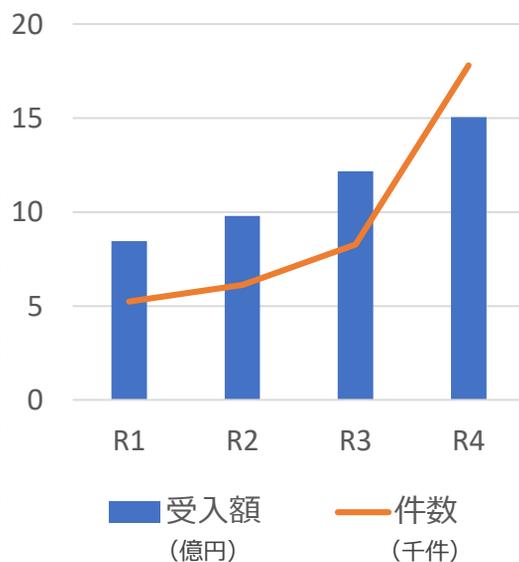
## ■参考：寄付額と受入件数の推移

全国（受入額と件数）



R4数値：9654億円、5184万件  
市場規模としては増加の一途を辿っている

大川市（受入額と件数）



R4数値：15億円、1万7,814件  
R5は17.4億円程度の寄附受入額となる見込